「合格可能性」

志望校判定は学力テストの受験生の入試本番の結果を集めて、基準を設定しています。今回の合格可能性は○%という数値と、それに対応した黒い線のグラフで表示しています。

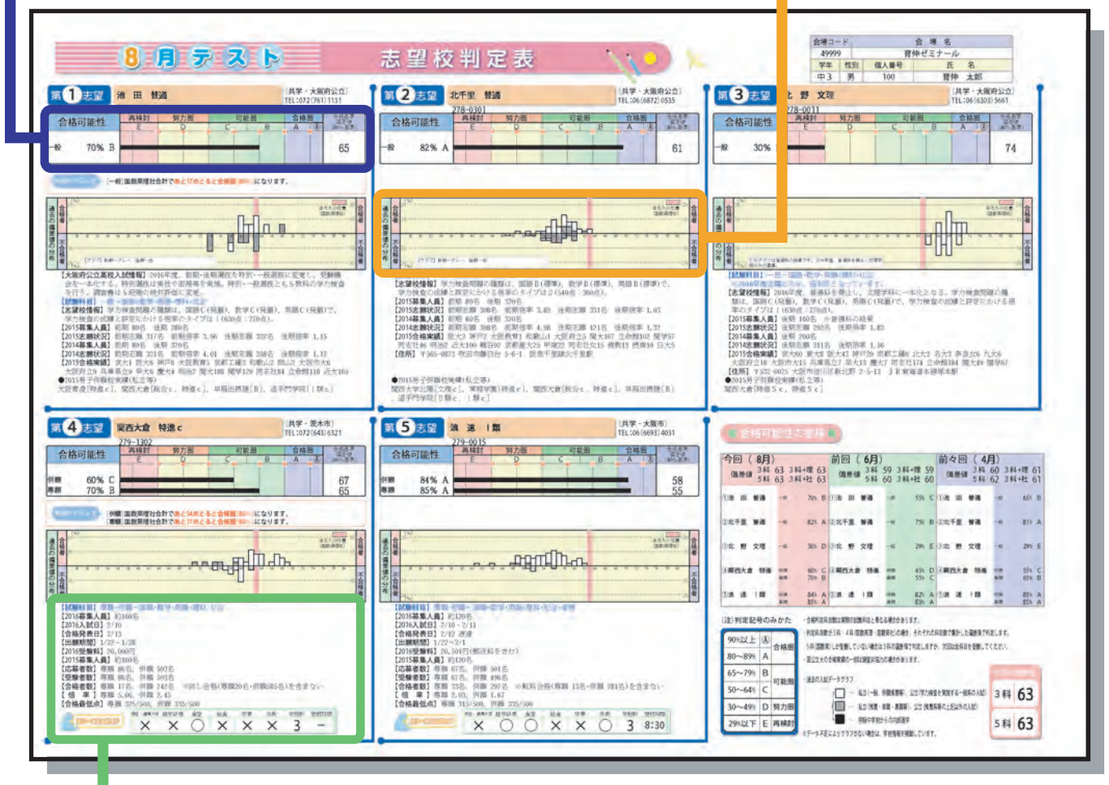
４段階の目安

- **合格圏**は過去の受験生の結果から見ると**ほぼ合格できる**ラインです。
- **可能圏**は**合格する可能性が不合格より高い**ラインです。
- **努力圏**は**不合格になるかもしれないが受験すればチャンスはある。**
  ただし、**可能圏以上の学校も併願する必要がある**というラインです。
- **再検討**は**合格するのは厳しいと思える**ラインです。

「合格者と不合格者の分布」

昨年の学力テストの受験生の入試結果です。真ん中の線から上が合格，下が不合格者の割合です。

赤いマーカーが今回のあなたの成績なので，現在の位置を一目で確認することができます。



「入試情報・学校情報」

１行目は試験科目になります。
以降は毎月優先順位を変更して
新しい情報に切り替わっていきます。

●公立高校
過去２年分の志願状況
大学合格実績
入試日程
志望校情報
併願校実績　など

●私立高校･国立高校･高等専門学校
スクールミニガイド
直近の入試結果
大学合格実績
募集要項
学校行事･学校説明会開催情報
学費　など

志望校判定表を上手く活用するには…

学校の合格基準偏差値は、入試の結果から合否ボーダーラインを想定したものですので、実際の入学者層とは異なることがあります。

判定精度は倍率が１.２倍から１.４倍程度の入試に最も適合しますが、例えば全員合格するような入試状況であれば、足切りをされない限り「再検討」でも合格することがあります。

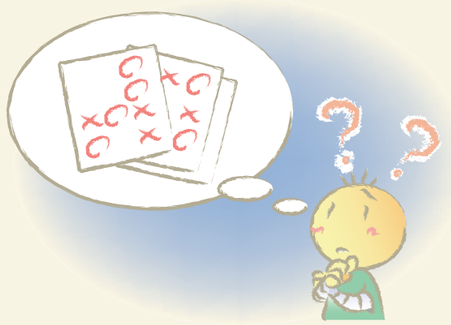
逆に倍率が２倍を超えるような状況では、合格圏から可能圏まで同じように合格者・不合格者が分布することもあります。
受験校を決める前に入試状況も確認してみてください。

また、学力テストを使って受験校を絞り込む時に注意しなければならないのは、
中３になってから複数回テストを受験して、同じような結果が出ているかということです。

特に受験学年になったら、定期的にテストを受験して安定した判定かどうかの確認をしてみてください。受験学年の前半だけの結果や単発的な受験では、確実な判定とは言えません。

志望校判定表には学校情報も満載です！
気になる学校は直接訪問して、納得してから入試に臨みましょう！

学力テストについて



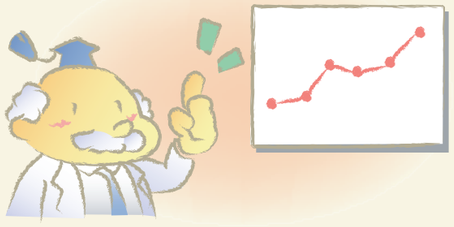
学校の定期テストでは80～90点をとれるのに，学力テストでは平均点をとるのも大変！というお話をよく聞きます。

定期テストは教科担当の先生が受け持ちの生徒の理解度を測ることを目的に作成しているので，授業をしっかり受けていれば一般的には高得点をとることができます。

それなのに，わざわざ難しい学力テストを受ける意味はどこにあるのでしょう？

学力テストを受験すると…

塾での計画的学習で培った学力を，毎月の学力テストで理解度・到達度を分析し，さらに全国レベルで学力診断を行うことができます。



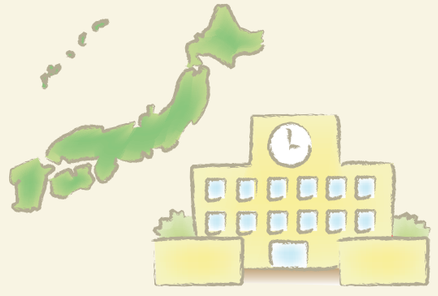
学力テストは単発型のイベント的な模試ではなく，吟味された良問から「評価教材」として年間の指導計画の中で活用しています。

目標をもって取り組んだ学習の結果を客観的に分析・評価して，更にできなかった問題に取り組めばより定着できるようになります。

また，学力診断テストとしては最大規模の母集団なので，全国で同学年の生徒がほぼ同時期に受験しています。

現在は，中学生はそのほとんどが高校受験を経験し，高校生の半数が大学へ進学する時代になりました。

大学入試が全国区で行われる以上，学力テストも地方区ではなく全国区のスタンダード版で定期的に行われるのが望ましいと言えるでしょう。



受験前の詰め込みだけで目標校に合格することもありますが，
日常の学習の蓄積の上に成り立つ真の学力が，ブレない「実力」です。

この「実力」を測定し，伸ばしていける学力診断テストを受験してみましょう！

「今回の成績」を確認しよう！

各教科・３科(国数英)・５科(国数英理社)のあなたの成績結果です。

今回の得点・偏差値・10段階評価・偏差値のグラフを見てみましょう。偏差値は全国平均が50になりだいたい25～75の範囲に入ります。
赤い矢印は今回までの偏差値の傾向を示しています。

「今回の順位」と「得点度数分布図」を見てみよう！

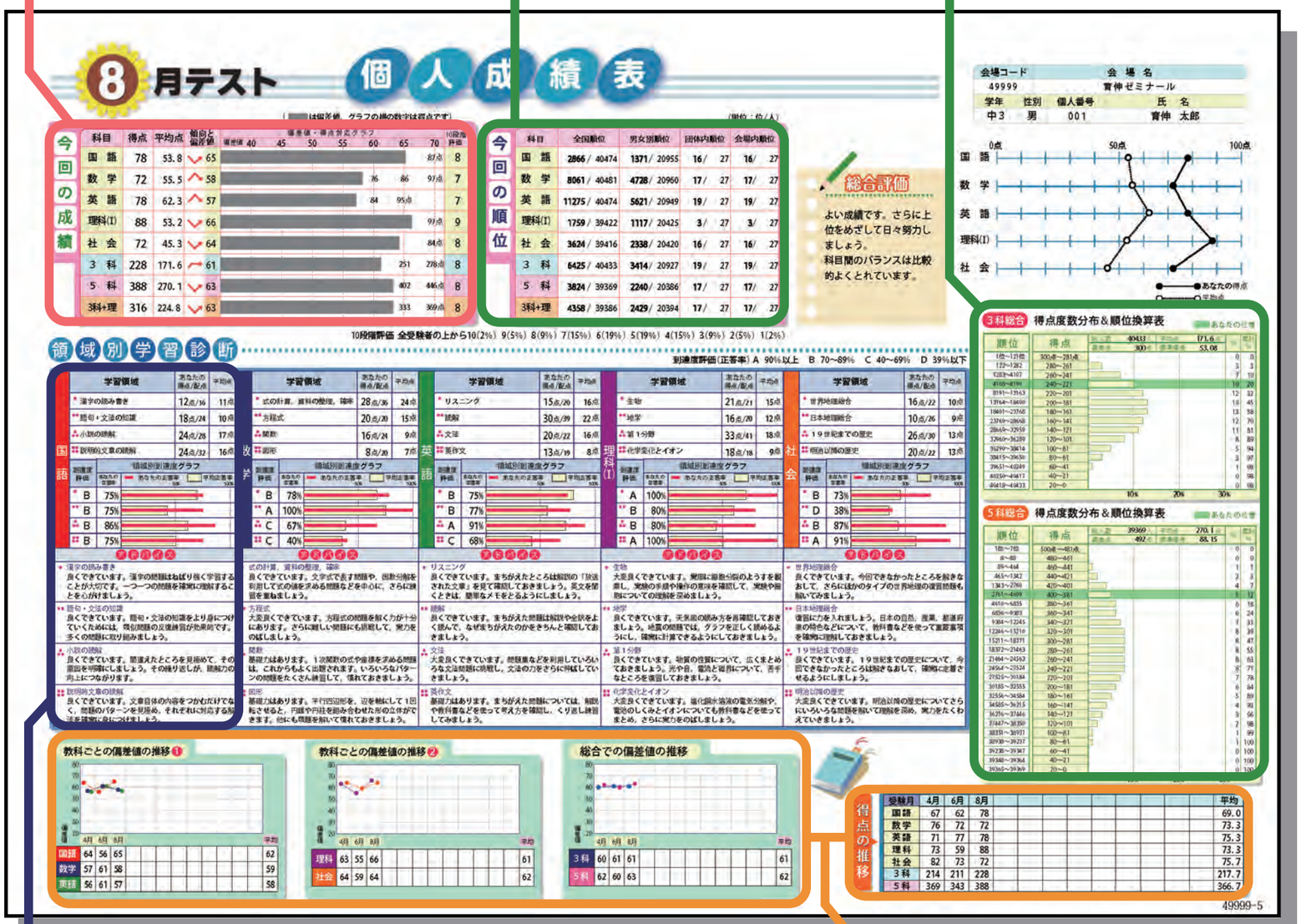
全国で，今回は何位だったかを確認できます。
得点度数分布図は全国の受験生が「３科と５科で何点とったか」を表しています。
緑のマーカーは「全国の中のあなたの位置」です。数字よりわかりやすいですね。

すぐ横に全国順位があるので「あと○点取れば△位ぐらいになるかな」と目安に使ってください。

弱点の発見と対策に有効「小問分析表」

小問単位での正解･不正解を確認できます。
領域別よりもさらに詳細な小問別データによって示されているため，どこで間違えたか特に力を入れて復習する必要のある問題がひと目でわかります。

自分の得意・不得意がすぐわかるので，効果的な対策を立てやすくなります。



黄色の問題

黄色の問題は，「優先して復習したい，不正解だった問題」です。
次は確実に正解することが実力アップの近道です。

あなたの得点率とは

赤のラインは，問題の配点を正答率の高い順に合計して，あなたの合計点に到達した位置になります。この線より上の問題は正解できたと思われます。

達成率とは

緑のラインは，全体正答率を20%単位で区切っています。
例えば，正答率100～80%の問題で
「何パーセント正解できたか＝理解できているか」
を判断する目安としてください。

領域別学習診断とは？

各教科を４つの学習領域で診断しています。
学習領域ごとの到達度をＡ～Ｄの４段階で評価していますが，全国平均と比較しているのではなく領域全体を100%として，あなたが何%できたかを示しています。
学習領域ごとのアドバイスを参考にしてください。

**あまり得点がとれなかった領域は「小問分析表」で確認しましょう。
学習内容が定着するまで，やり直しをしていきましょう！**

ひと目でわかる「偏差値と得点の推移」

今の学年で受けた学力テストの結果が，すべて出ています。

受験回数が少ないと苦手な範囲にあたったら成績が下がってしまったり，たまたま良い成績がとれることもあるので，できるだけ多く受験することで成績の傾向が把握できます。

毎月，受験した場合は１回ごとの多少の変動はあまり気にしなくても大丈夫です。偏差値が全体として上昇していれば力がついています。横ばいなら勉強次第でさらに上がります。
もし少しずつ下がっている教科があったら，振り返って苦手な単元をやり直したり，次のテストの範囲をしっかり勉強しましょう。

×→○ 想定得点

科目	今回得点	×→○	想定得点
国語	80	＋4	84
数学	72	+12	84
英語	77	+12	89
理科	70	+10	80
社会	75	+11	86
3科	229	+28	257
5科	374	+49	423

×→○ 想定偏差値

科目	今回偏差値	×→○	想定偏差値
国語	62	+2	64
数学	58	+5	63
英語	62	+7	69
理科	57	+5	62
社会	57	+6	63
3科	62	+5	67
5科	60	+6	66

● 復習することで，こんなに変わる！

黄色の問題がもし正解だったら得点と偏差値は，どう変わるのかを表にしました。
ひと目で効果がわかるので復習を促しやすくなります。